

第1007回教育委員会

平成27年3月16日
県庁舎教育委員室

1 開 会 午後2時

2 会議録署名委員の指名

3 会期の決定

4 報 告

- (1) 平成27年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況（2月末現在）
(高校教育課)
- (2) 平成27年度公立高等学校入学者選抜の実施状況について (高校教育課)
- (3) YAMAGATAドリームキッズ第6期生の決定について
(スポーツ保健課競技スポーツ推進室)
- (4) 第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会の山形県選手団の成績について
(スポーツ保健課競技スポーツ推進室)
- (5) 平成26年度全国高等学校総合体育大会（スピードスケート・スキー）の山形県選手団の成績について (スポーツ保健課)
- (6) 日本遺産魅力発信推進事業への取組みについて (文化財・生涯学習課)
- (7) 県立図書館のリニューアルについて (文化財・生涯学習課)

5 議 題

- | | | |
|------|---|-------------|
| 議第1号 | 山形県文化財保護条例第4条第1項の規定による山形県指定有形文化財の指定について | (文化財・生涯学習課) |
| 議第2号 | 山形県文化財保護条例第32条第1項の規定による山形県指定名勝の指定の解除について | (文化財・生涯学習課) |
| 議第3号 | 山形県文化財保護条例第32条第1項の規定による山形県指定天然記念物の指定の解除について | (文化財・生涯学習課) |
| 議第4号 | 教育委員会職員の人事について | (総務課) |
| 議第5号 | 教職員の人事について | (総務課教職員室) |

6 閉 会

平成27年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況（2月末現在）

	希望者数（人）			内定者数（人）			内定率（％）			未内定者数（人）		
	県内	県外	合計	県内	県外	合計	県内	県外	合計	県内	県外	合計
本年	2,451	701	3,152	2,411	687	3,098	98.4	98.0	98.3	40	14	54
公立	1,625	508	2,133	1,606	498	2,104	98.8	98.0	98.6	19	10	29
私立	826	193	1,019	805	189	994	97.5	97.9	97.5	21	4	25
村山	1,160	155	1,315	1,137	150	1,287	98.0	96.8	97.9	23	5	28
最上	153	68	221	151	66	217	98.7	97.1	98.2	2	2	4
置賜	465	143	608	458	143	601	98.5	100.0	98.8	7	0	7
庄内	673	335	1,008	665	328	993	98.8	97.9	98.5	8	7	15
前年	2,430	713	3,143	2,385	707	3,092	98.1	99.2	98.4	45	6	51
対前年比	21	▲12	9	26	▲20	6	0.3	▲1.2	▲0.1	▲5	8	3

* 本調査には、縁故・自営・公務員を含んでいる。内定率の増減はポイント数である。

平成27年度山形県公立高等学校入学者選抜の概要

1 日 程

- | | |
|----------------|--|
| (1) 推薦願書受付期間 | 平成 27 年 1 月 21 日 (水) ~ 1 月 27 日 (火) 正午 |
| (2) 推薦面接等実施日 | 平成 27 年 2 月 5 日 (木) |
| (3) 連携面接等実施日 | 平成 27 年 2 月 6 日 (金) |
| (4) 選抜内定結果連絡 | 平成 27 年 2 月 13 日 (金) |
| (5) 一般願書受付期間 | 平成 27 年 2 月 19 日 (木) ~ 2 月 25 日 (水) 正午 |
| (6) 学力検査・面接実施日 | 平成 27 年 3 月 10 日 (火) |
| (7) 適性検査実施日 | 平成 27 年 3 月 11 日 (水) |
| (8) 合格発表 | 平成 27 年 3 月 17 日 (火) |

2 実施学校数及び学科数

		27年度		26年度		増 減	
		校数	学科数	校数	学科数	校数	学科数
推薦 選抜	全日制	26	67	25	66	1	1
	定時制	0	0	0	0	0	0
一般 選抜	全日制	42	96	43	96	▲ 1	0
	定時制	5	5	5	5	0	0

3 推薦志願、推薦合格内定、一般志願状況

		入学 定員	推薦 募集 人員	推薦 志願 者数	推薦 志願 倍率	推薦 内定 者数	連携 内定 者数	一般 選抜 定員	一般 志願 者数	一般 志願 倍率
全 日 制	平成27年度	7,760	約844	1,033	1.22	763	67	6,930	6,728	0.97
	平成26年度	7,840	約888	989	1.11	748	55	7,037	7,125	1.01
	増 減	▲80	▲約44	44	0.11	15	12	▲109	▲397	▲0.04
定 時 制	平成27年度	280	0	—	—	0	—	280	127	0.45
	平成26年度	280	0	—	—	0	—	280	128	0.46
	増 減	0	0	—	—	0	—	0	▲ 1	▲0.01

4 学科別一般選抜志願倍率

	普通	理数	音楽	体育	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	総合
27年度	1.01	1.13	0.45	1.35	0.83	0.97	1.12	0.48	0.83	1.29	0.72	0.81
26年度	1.05	1.16	1.00	1.90	0.77	1.00	1.07	0.46	1.25	1.32	1.28	0.91
増減	▲ 0.04	▲ 0.03	▲ 0.55	▲ 0.55	0.06	▲ 0.03	0.05	0.02	▲ 0.42	▲ 0.03	▲ 0.56	▲ 0.10

山形県スポーツタレント発掘事業

平成26年度の応募・選考状況について

1 応募状況について

	3年生		4年生		合 計			地区別の割合
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	総数	
村山地区	118	52	98	58	216	110	326	58.3%
最上地区	9	2	7	8	16	10	26	4.7%
置賜地区	30	23	33	22	63	45	108	19.3%
庄内地区	46	17	18	18	64	35	99	17.7%
男女小計	203	94	156	106	359	200	559	100%
男女比	68.4%	31.6%	59.5%	40.5%	64.2%	35.8%		
学年小計	297		262					
学年比	53.1%		46.9%					

2 第1次選考結果について

- (1) 選考方法 10月25日(土)村山・11月2日(日)庄内・9日(日)置賜
5種目の実技テストによる選考
- (2) 第1次選考通過者 229名
- (3) 地区別人数

	3年生		4年生		合 計			地区別の割合
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	総数	
村山地区	32	17	56	31	88	48	136	59.4%
最上地区	3	0	6	7	9	7	16	7.0%
置賜地区	5	2	17	12	22	14	36	15.7%
庄内地区	14	3	10	14	24	17	41	17.9%
男女小計	54	22	89	64	143	86	229	100%
男女比	71.1%	28.9%	58.2%	41.8%	62.4%	37.6%		
学年小計	76		153					
学年比	33.2%		66.8%					

3 第2次(最終)選考結果について

- (1) 選考方法 :1月17日(土) 5種目の実技テストによる選考
- (2) 最終選考通過者 :30名
- (3) 地区別人数

	3年生		4年生		合 計			地区別の割合
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	総数	
村山地区	1	0	7	8	8	8	16	53.3%
最上地区	0	0	1	0	1	0	1	3.3%
置賜地区	0	0	3	3	3	3	6	20.0%
庄内地区	0	1	3	3	3	4	7	23.3%
男女小計	1	1	14	14	15	15	30	100%
男女比	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%		
学年小計	2		28					
学年比	6.7%		93.3%					

YAMAGATAドリームキッズ市町村別人数一覧

出身市町村	第1期生(修了) (中3・中2)			第2期生 (中2・中1)			第3期生 (中1・小6)			第4期生 (小6・5)			第5期生 (小5・4)			第6期生 (小4・3)			市町村合計		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
山形市	5	2	7	5	4	9	7	3	10	9	1	10	4	1	5	1	4	5	31	15	46
上山市		1	1			0	2		2			0			0			0	2	1	3
天童市	1		1	1	1	2	1	1	2			0		2	2	1	0	1	4	4	8
山辺町			0			0	1		1		1	1			0			0	1	1	2
中山町	2	1	3			0			0		1	1			0		2	2	2	4	6
寒河江市	1		1	2		2			0			0	1		1	2	1	3	6	1	7
河北町	1		1			0			0			0			0	1		1	2	0	2
大江町			0			0		1	1		1	1			0			0	0	2	2
西川町			0			0			0			0			0	1		1	1	0	1
朝日町			0			0			0	1		1			0			0	1	0	1
村山市			0	2		2			0	1		1			0	2		2	5	0	5
東根市			0	1		1		1	1		2	2		1	1			0	1	4	5
尾花沢市			0		1	1			0			0			0		1	1	0	2	2
大石田																1		1	1	0	1
村山地区計	10	4	14	11	6	17	11	6	17	11	6	17	5	4	9	9	8	17	57	34	91
新庄市	1		1			0	2	1	3		2	2	1		1			0	4	3	7
最上町	1		1	1		1			0			0			0			0	2	0	2
舟形町			0			0			0			0			0		1	1	0	1	1
大蔵村			0		1	1			0			0			0			0	0	1	1
鮭川村			0			0	1	0	1			0			0			0	1	0	1
戸沢村			0			0	1		1			0			0			0	1	0	1
最上地区計	2	0	2	1	1	2	4	1	5	0	2	2	1	0	1	0	1	1	8	5	13
米沢市	3		3	1		1	1	1	2		2	2	5	3	8		1	1	10	7	17
南陽市	2	1	3	1		1	1		1	1		1	1	1	2	3		3	9	2	11
高畠町			0			0			0			0			0			0	0	0	0
川西町			0			0	1	0	1			0	1	1	2		1	1	2	2	4
長井市			0		1	1			0		1	1			0			0	0	2	2
白鷹町			0	1		1			0			0		1	1	1		1	2	1	3
飯豊町			0			0			0	1		1	1		1			0	2	0	2
小国町	1		1			0			0			0			0			0	1	0	1
置賜地区計	6	1	7	3	1	4	3	1	4	2	3	5	8	6	14	4	2	6	26	14	40
鶴岡市	3	2	5	1		1	1	1	2	1	3	4	1	3	4		2	2	7	11	18
酒田市		1	1	1	1	2	1		1	1	1	2			0	1	2	3	4	5	9
遊佐町			0	1	1	2			0			0		2	2			0	1	3	4
三川町			0			0		1	1			0			0	1		1	1	1	2
庄内地区計	3	3	6	3	2	5	2	2	4	2	4	6	1	5	6	2	4	6	13	20	33
全地区合計	21	8	29	18	10	28	20	10	30	15	15	30	15	15	30	15	15	30	104	73	177

第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会
山形県選手団の成績について

平成27年 3月16日
教育庁スポーツ保健課

1. 大会概要

競技会名	スキー競技会
大会期日	平成27年2月20日(金)～2月23日(月)
会場	群馬県利根郡片品村
選手団	団長 早坂 孝 以下80名

2. 成績

男女総合成績(天皇杯順位) 第 7 位 (昨年 5 位)
女子総合成績(皇后杯順位) 第 6 位 (昨年 9 位)

年	回	開催地	男女総合成績		女子総合成績	
			順位	得点	順位	得点
27	70	群馬 和歌山	7位	49点	6位	23点
26	69	山形 長崎	5位	78点	9位	20点

男女総合成績における得点49点は、競技獲得得点39点にスキーの参加点10点を加算したもの。
女子総合成績における得点23点は、競技獲得得点23点にスキーの参加点10点を加算したもの。

3. 入賞一覧および競技獲得得点

順位	競技名	種別	種目	選手名	所属	得点	ふるさと登録選手
3位	スキー	成年男子B	スペシャルジャンプ	久保貴寛	山形県体育協会	6	
	スキー	成年男子B	コンバインド	久保貴寛	山形県体育協会	6	
4位	スキー	成年男子A	ジャイアントスラローム	清野嵩悠	早稲田大学3年	5	○
	スキー	成年男子C	ジャイアントスラローム	瀧澤宏臣	日建総業スキークラブ	5	
5位	スキー	少年男子	クロスカントリーリレー	沼澤竜介・柴崎俊輔 古瀬友博・下山大輔	北村山高校・北村山高校 新庄北高校・北村山高校	4	
6位	スキー	成年女子B	クロスカントリー	青木富美子	真室川高校教員	3	
	スキー	成年女子B	ジャイアントスラローム	丸子由里香	置環	3	
7位	スキー	少年女子	クロスカントリー	田村 希	北村山高校2年	3	※
	スキー	女子	クロスカントリーリレー	五十嵐美鈴・五十嵐萌 青木富美子・有路杏子	北村山高校・新庄北高校 真室川高校・早稲田大学	2	
8位	スキー	成年女子A	クロスカントリー	有路杏子	早稲田大学3年	1	○
10位	スキー	少年女子	クロスカントリー	五十嵐美鈴	北村山高校2年	1	※
合計						39	

※繰上げ

競技得点は、同一県2名までに与えられ、上位に同一県が3人いる場合は、下位の県の得点が1点繰り上がる。

入賞数：10個(優勝0個)・昨年入賞数：15個(優勝2個)

平成26年度 全国高等学校総合体育大会冬季競技(スケート・スキー)入賞一覧

1. 大会概要

競技名	スピードスケート	スキー
大会期日	平成27年1月22日(木)～1月25日(日)	平成27年2月6日(金)～2月10日(火)
会場	山形市総合スポーツセンタースケート場	秋田県鹿角市・花輪スキー場
選手団	監督5, 選手15(男子10, 女子5)、マネ0	監督19, 選手56(男子36, 女子20)、マネ7

2. 入賞一覧

順位	競技名	性別	種目	選手名	学校名
優勝	スキー	男子	スラローム	深瀬 悟志	日大山形高校3年
	スキー	女子	5kmクラシカル	田村 希	北村山高校2年
2位	スピードスケート	男子	10,000m	横山 碧生	山形中央高校2年
	スキー	女子	5kmクラシカル	五十嵐美鈴	北村山高校2年
	スキー	女子	学校対抗	北村山高校	(29点)
6位	スピードスケート	男子	1,500m	一戸 大地	山形中央高校2年
	スピードスケート	男子	学校対抗	山形中央高校	(20点)
	スキー	男子	10kmクラシカル	下山 大輔	北村山高校3年
	スキー	男子	クロスカンントリーリレー(10km×4)	沼澤 竜介・柴崎 俊輔 下山 大輔・坂本 育也	北村山高校
	スキー	女子	クロスカンントリーリレー(5km×3)	田村 希・原田 桃香 五十嵐美鈴	北村山高校
7位	スピードスケート	男子	2,000mリレー(500m×4)	吉田 優太・由井 直樹 横山 碧生・横山 碧生	山形中央高校
	スキー	男子	10kmクラシカル	古瀬 友康	新庄北高校3年
	スキー	女子	5kmフリー	五十嵐美鈴	北村山高校2年
8位	スキー	男子	ジャイアントスラローム	中山 大輝	日大山形高校1年
	スキー	男子	学校対抗	日大山形高校	(14点)
9位	スキー	女子	ジャイアントスラローム	松浦佳也乃	日大山形高校3年

3. 過去3年の全国高校総体冬季競技における入賞数

年度(回)	スピードスケート		スキー		合計		
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	合計
H24	7	0	2	1	9	1	10
H25	8	0	7	1	15	1	16
H26	4	0	6	6	10	6	16

日本遺産魅力発信推進事業への取組みについて

文化庁の平成27年度新規事業である「日本遺産」の認定を希望する「ストーリー」の募集が行われました。本県では、「最上川舟運が育んだ文化と景観」をテーマにストーリー構成を行い、関係する市町村の合意を得て、教育長名で2月10日に文化庁へ提出いたしました。

申請者は、市町村とされておりますが、共通テーマで結び付いた市町村が同一県内に所在する場合は、都道府県が申請者となることも可能であることから、最上川については県が申請者となりました。

本県では、他に鶴岡市が「松ヶ岡開墾場」をテーマにストーリーを提出しております。

その後、文化庁において絞り込みが行われ、本県の2件は審査案件となりましたので、改めて必要書類を提出する準備を進めております。

■日本遺産とは

地域に点在する有形・無形の文化財をパッケージ化し、日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定する仕組み。

国による支援は、①情報発信・人材育成、②普及啓発、③公開活用のための整備などが予定されている。

認定件数は、平成32年度までに、年15件、合わせて100件程度が想定されている。

■合意市町村

(最上川関連の構成資産を有していると位置付けられている22市町村)

山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、村山市、長井市、東根市、尾花沢市、中山町、河北町、朝日町、大江町、大石田町、舟形町、大蔵村、戸沢村、高島町、川西町、白鷹町、庄内町

■「ストーリー」の構成

(発信したい地域の際立った歴史的特徴・特色を200字程度で作成)

○タイトル 最上川舟運が育んだ文化と景観

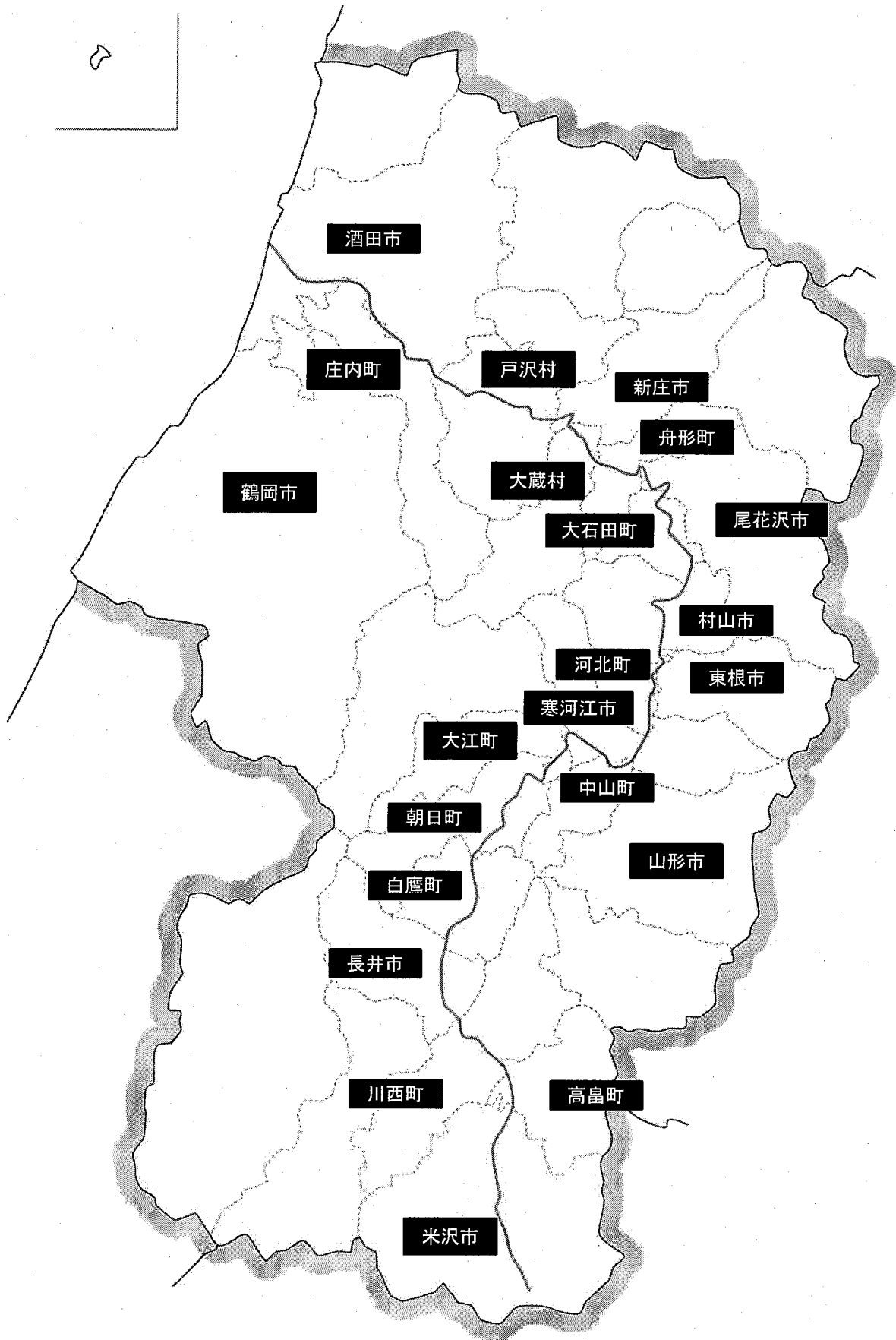
～人々が川とともに創り上げた歴史・文化・景観を今に伝える唯一の川・最上川～

○ストーリーを構成する要素

舟運関連史跡・景観、名勝、紅花関連の屋敷・雛人形、伝統芸能、川絵図など美術工芸品、いも煮などの食文化等

■文化庁提出 平成27年3月25日(水)

合意市町村位置図



日本遺産魅力発信推進事業

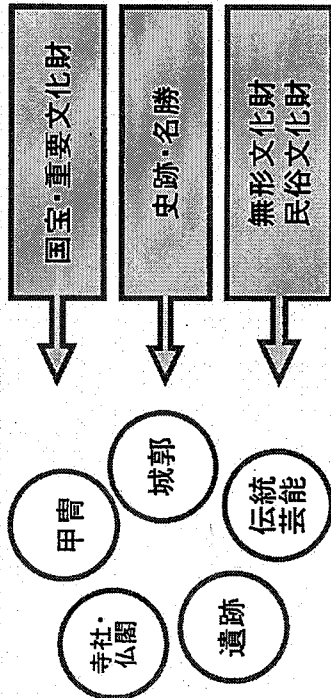
(新規)
27年度要求・要望額 1,506百万円

概要

地域に点在する有形・無形の文化財をパッケージ化し、我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」に認定する仕組みを新たに創設。歴史的魅惑に溢れた文化財群を地域主体で総合的に整備・活用し、世界に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図る。

従来型の文化財行政

個々の遺産ごとに、いわば「点」として指定



⇒地域の魅力が十分に伝わらない

ポイント

○文化財群のパッケージとして、「地域型」と「ネットワーク(シリアル)型」の2タイプを想定

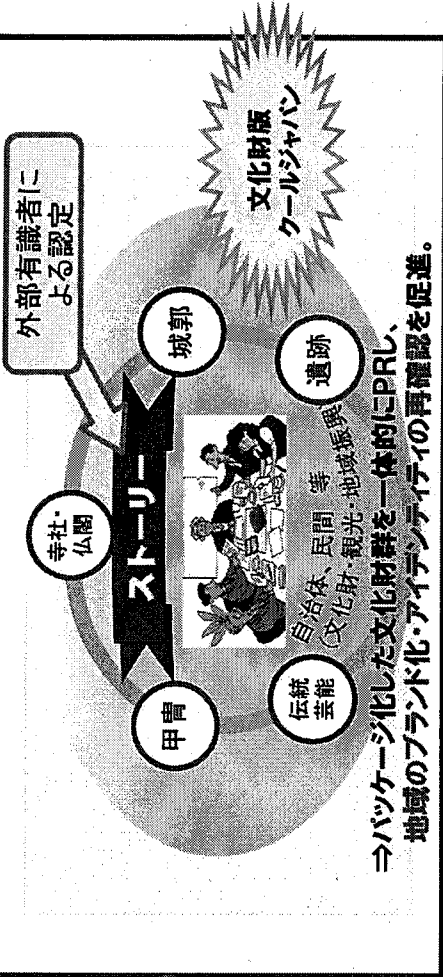
(例)地域型： 屋台祭礼の場として守られてきた数百年前の町並み/過酷な自然環境と共存するための建築物等の生活環境と祭礼等の文化環境 等
ネットワーク型： 防衛拠点・統治の象徴とした天守を有する近世日本の城郭建築/日本各地に同時期に作られた大規模な大名庭園 等

○自治体に対し、日本遺産に関する情報発信等に係る支援策を用意するほか、ハード面に関する事業をコミュニケーション

○国交省、観光庁をはじめ関係省庁と連携・協力し、省庁横断的に支援。

日本遺産 (Japan Heritage)

地域に点在する様々な遺産を「面」として活用・発信



事業内容

①情報発信、人材育成事業

- ・日本遺産コーディネーターの配置
- ・多言語HP、パンフレットの作成
- ・ボランティア解説員の育成等

②普及啓発事業

- ・発表会、展覧会、ワークショップ、シンポジウムの開催
- ・日本遺産PRイベント(国内外)の開催
- ・ご当地検定の実施等

③公開活用のための整備に係る事業

- ・ストーリーの理解に有効なガイダンス機能の強化
- ・周辺環境等整備(トイレ・ベンチ、説明板の設置等)

要望

創設予定の「日本遺産」本県の候補

最上川と松ヶ岡開墾場

文化財を観光振興につなげるため政府が2015年度に創設を予定している制度「日本遺産」に、県は2日、本県から最上川と鶴岡市の松ヶ岡開墾場を認定候補に挙げ、県教育委員会と同市が文化庁と協議していることを明らかにした。

県教委と鶴岡市 文化庁と協議

同日の県議会一般質問で、菅野滋県教育長が説明した。同制度は文化財を共通する特徴ごとにまとめ、地域活性化を目指す事業。歴史的な物語性を持たせ、日本の新たな観光ツールを生み出す狙いがある。県教委文化財・生涯学習課によると、単年度で15件程度を選び、東京五輪が開催される20年までには全国の約100件を認定する計画になるという。

認定要件が設けられ、かつて県が世界遺産への登録を目指した最上川の場合、文化庁による世界遺産暫定一覧表候補に「最上川の文化的景観」として現在も登録されている山形県が条件を満たす。また旧庄内藩士が開墾した国指定史跡の松ヶ岡開墾場は、鶴岡市が地域固有の歴史や文化、自然を生かしたまちづくりを進める「歴史的風致維持向上計画」を策定していることから要件をクリアする。

平成27年3月3日 山形新聞

「日本遺産」の申請 県と鶴岡市が準備

「最上川」「松ヶ岡開墾場」

文化庁が2015年度に新設する「日本遺産」に、県内では、県が「最上川」、鶴岡市が「松ヶ岡開墾場」を中心に申請の準備を進めている。県議会の一般質問で、菅野滋教育長が明らかにした。

日本遺産は、有形・無形の文化財を中心に据え、それが残った歴史的背景など地域の文化・伝統を語る「ストーリー」を文化庁が認定し、戦略的に世界に発信していくという制度。15年度は15件程度、20年度までに100件ほどが認定される見込みで、認定を受けると、情報発信や人材育成、公開・活用のための整備などで国の補助が受けられる。県教委文化財・生涯学習課によると、文化庁が申請の要件などを示したことを受けて、今年2月以降、具体的な準備を進めてきたという。菅野教育長は「観光振興や地域活性化な

ど、さまざまな面での効果が期待できる。文化庁との協議をしっかりと進め、ほかにも魅力ある資源があるので、幅広く認定の可能性を探っていきたい」と話した。(松本紗知)

平成27年3月3日 朝日新聞

「最上川」日本遺産目指す

県教委と文化庁協議 松ヶ岡開墾場も

文化庁が2015年度に創設する「日本遺産」として、県教委は2日、「最上川」と「松ヶ岡開墾場」(鶴岡市)の認定に向けて、文化庁と協議を始めたことを明らかにした。同日の県議会2月定例会の一般質問で、菅野滋教育長が答弁した。

県教委文化財・生涯学習課によると、協議を始めたのは2月。新年度に開始される審査委員会に向けて、有識者への聞き取りなどを行い、認定に必要な資料を集めるという。

日本遺産の認定を受けるには、海外向けに複数の言語によるホームページやパンフレットでの情報発信や、ボランティア解説員などの人材育成、国内外でのPRイベントなどについて、国から補助を受けられる。文化庁は初年度、15件をめぐりに認定し、東京五輪・パラリンピックが開かれる20

20年までに100件程度にまで増やす予定。
最上川は、物流手段として県土発展の礎となったほか、松尾芭蕉らが俳句に詠んだことなどから、歴史・文化的資産としての価値があるとしている。松ヶ岡開墾場は明治維新後、旧庄内藩士が荒地を開拓して養蚕業を興した場所で、国史跡に指定されている。
菅野教育長は「文化庁と協議をしっかりと進め、他の地域資源についても認定の可能性を探っていきたい」と述べた。

平成27年3月3日 読売新聞

新しい読書の楽しみ方、はじめませんか？

平成27年2月22日（日）山形県立図書館リニューアル！

新聞・雑誌コーナーへの飲料持ち込みOK！

1階入り口新聞・雑誌コーナー
（フラウジングコーナー）に、
飲料の持ち込みが可能に！
飲み物を飲みながら、
新聞・雑誌を読むことができます。
※ペットボトルや水筒等、フタ付の
ものに限ります。



大活字本・朗読CDコーナー「楽らく文庫」を設置！



細かい字を追うのがしんどい…
本を読むのが億劫だ…そんな
あなたに、大活字本・朗読CD
という新しい読書の楽しみ方
を提案！

大きな文字で 👁 にやさしい物語、
音できく 🎧 で楽しむ物語があなた
を待っています♪

↓ お問い合わせはこちらまで ↓

山形県立図書館資料整備担当 〒990-0041 山形県山形市緑町1-2-36

TEL : 023-631-2523 FAX : 023-625-6520

E-mail : ytosh@pref.yamagata.jp HP : <http://www.lib.pref.yamagata.jp/>

一部で飲み物持ち込み可 ◆ 大活字本や朗読CDコーナー

1階入り口にある新聞・雑誌コーナーでは、ペットボトルや水筒などふた付きに限り、飲み物の持ち込みを解禁。椅子と椅子の間にはテーブルを設けている。ゆったりと過ごせる滞在型の図書館にするのが狙いで、かねてよりあった来館者からの要望に応えた。

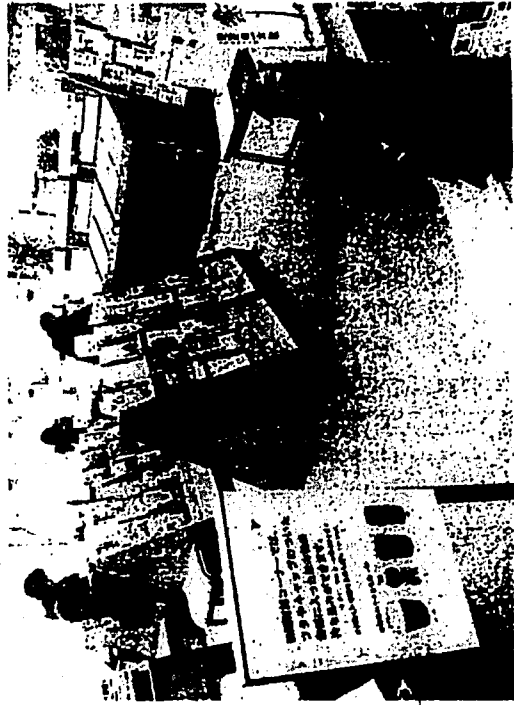
また1階視聴覚資料コーナーに大活字本を設けた。視覚障害者をはじめ、細かい字を追うのがつらく、読書がおっくうになってしまう高齢者な

県立図書館リニューアル

どを対象とし、新たに購入した約180冊を準備。角田光代さんの「八百目の蝶」、武良布枝さんの「みぎの女房」など多彩なジャンルの本を貸し出しており、朗読CD約370点も併設している。

同館の年間入館者は、ここ数年は20万人前後と伸び悩んでいる。板垣浩治館長は「県立図書館は敷居が高いというイメージもあるようだ。それを変え、多くの人に新しい読書の楽しみ方を提供したい」と話している。

県立図書館は、気軽に読書に親しめる環境を整えるため、一部スペースで飲み物の持ち込みを可能とするなど館内をリニューアルした。高齢者などのために活字の大きい本や朗読CDを集めた特設コーナーも新設し、利便性の向上を図った。



飲み物を持ち込めるようになった新聞・雑誌コーナー
＝山形市・県立図書館

ゆったり 過ごして

〈平成27年3月9日 山形新聞〉